

事業の背景・目的

志布志市では、市内の生物多様性に関する情報収集・整理と希少種保全や外来生物の防除等を行っているが、「志布志市生物多様性地域戦略」にて掲げている5つの将来像を実現するためには、各主体の連携と協働が課題となっている。

「志布志市生物多様性センター」を設立することで、生物多様性保全に係る関係者の連携や協力のあっせんを行う。また、自然体験型の環境学習の場を提供することで、生物多様性の主流化を図る。

事業の内容

令和3年に策定した「志布志市生物多様性地域戦略」の重点施策に「生物多様性センターの設立」を設定。その後、令和4年11月に「志布志市生物多様性センター」を設立。

事業① 情報収集及び発信事業

- ・自然保護団体等と連携し、生物多様性保全に係る地域の現況を把握
- ・ホームページやSNS等を活用した普及啓発

事業② 観察会・講演会及びモニタリング活動事業

- ・自然観察会や写真展の実施
- ・本センターに登録している専門家を派遣し出前講座を実施
- ・ウミガメ等の希少種保全やアルゼンチンアリ・ハイイロゴケグモのモニタリング調査



講演会の様子



秋のネイチャーウォッチング

得られた成果

- ・生物多様性保全に係る地域の現況や市内の自然保護団体等の活動状況の把握。
- ・SNS等を活用した情報発信による生物多様性の主流化。
- ・自然保護団体等の活動支援や自然観察会の開催などによる様々な主体との連携強化。

今後

- ・これまでの事業を継続するとともに、本交付金事業において収集・蓄積された知見等を基に、生物多様性保全に係る理解促進や担い手育成、地域や事業者の保全活動の支援等の強化を図る。